

【 畜産新技術 】

1 開催期日 令和8年11月24日（火）～11月27日（金） 4日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
11月24日 (火)	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～15:00	畜産新技術の動向 農林水産技術会議事務局（畜産局畜産振興課付） 西尾 元秀
	15:15 ～16:15	スマート農業の推進について 畜産局 畜産振興課 家畜遺伝資源管理保護室 個体識別システム活用班 係長 小崎 佑太
	16:30 ～17:30	搾乳ロボット情報（新型ロボット機能、能力、メンテナンスなど） デラバル株式会社 テクニカルサポート部 部統括 水田 勇気
11月25日 (水)	8:45 ～10:15	DNA解析を利用した家畜の育種改良 独立行政法人家畜改良センター 企画調整部 改良技術課 技術専門役 阿部 剛
	10:30 ～12:30	精密分娩および精密繁殖管理について 農研機構 畜産研究部門 家畜繁殖管理研究領域 臨床繁殖グループ長 阪谷 美樹
	13:30 ～17:00	現地研修（業務紹介） ・一般財団法人 畜産環境整備機構（60分） 畜産環境技術研究所 研究統括監 天羽 弘一 ・独立行政法人家畜改良センター 企画調整部（150分） 企画調整課 技術協力室長 藤澤 保
11月26日 (木)	8:45 ～10:15	ゲノム編集と倫理 国立大学法人北海道大学 安全衛生本部 教授 石井 哲也
	10:30 ～12:00	ベンチマーキングによる経営分析 明治大学 農学部 農学科 動物生産学研究室 准教授 佐々木羊介
	13:00 ～14:00 14:05 ～15:05	生産性向上に向けた疾病予防と飼養管理の新技術 国立大学法人東北大学大学院 農学研究科 動物生理科学分野 准教授 芳賀 聡
	15:20 ～16:50	牛の受精卵移植技術と雌雄判別技術の現状と課題 独立行政法人家畜改良センター 企画調整部 管理課 係長 山本悠ノ介
11月27日 (金)	8:45 ～10:15	家畜排せつ物の栄養生理学的制御技術 農研機構 畜産研究部門 牛精密管理研究領域 牛生産性向上グループ長 樋口 浩二
	10:30 ～12:30	産業動物のアニマルウェルフェアの現状と課題 農研機構 畜産研究部門 畜産施設管理研究領域 アニマルウェルフェアグループ 上級研究員 加藤 博美
	12:30 ～12:45	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

※講師所属について「農研機構」と記載あるものは「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」の通称です

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0 2 4 8 - 2 5 - 7 0 6 0

F A X 0 2 4 8 - 2 5 - 6 7 5 5

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体又は農協等生産者団体等の職員で当該技術分野に配属された者又は関連業務の経験のある者、農業に従事する者

5 受講者数 40名程度

6 受講者の留意事項

- (1) 受講者は、宿泊等については研修開始10日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

- (2) 研修施設への入所は、研修初日の9時00分～12時00分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

- (3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568（ダイヤルイン）